

## 企画展・特別展など

【会期日数】2月11日(土・祝)～4月9日(日) ※56日間

【会場】旧鶴岡警察署庁舎1階ホール

【展覧会名】鶴岡市・にかほ市・由利本荘市 3市連携交流企画 第1弾「北前船」

【内容紹介】日本遺産は、文化庁が認定した「地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリー」です。北前船の認定地は全国49市町におよび、各地の特色がみられます。各市が所有する北前船関係文化財を紹介し、各地域の魅力を再発見・再認識する。

【会期日数】3月15日(水)～4月26日(水) ※43日間

【会場】美術展覧会場

【展覧会名】花鳥風月

【内容紹介】時に美しく、時に厳しく、四季折々の表情をみせる日本の風土。移りゆく自然美は、今も昔も画家たちを魅了する。本展では「花鳥風月」をキーワードに、館所蔵の花鳥画、風景画を中心に紹介する。

【会期日数】4月29日(土・祝)～6月12日(月) ※45日間

【会場】美術展覧会場

【展覧会名】時を刻む―酒井家庄内入部401年特別展 徳川家康と酒井忠次

【内容紹介】三河武士を率いて戦国大名へと成長し、やがて全国統一を果たす徳川家康。家康を徳川家第一の重臣として支え続けた酒井忠次。2人が歩んだ道程を古文書や歴史資料、伝来の美術工芸品から辿る。忠次が織田信長と家康から拝領した国宝の太刀2振も出品。

【会期日数】6月15日(木)～7月30日(日) ※46日間

【会場】美術展覧会場

【展覧会名】受贈記念 商家に伝わる名品―鶴岡三井家の書画と工芸―

【内容紹介】鶴岡の旧家・三井惣右エ門家に伝来した書画・美術工芸品を展示。江戸時代から明治時代にかけて、狩野洞雲や永真など狩野派から高久靄厓や田能村直入らの南画や貫名海屋の書跡、焼き物や漆工品の資料を鑑賞する。

【会期日数】8月2日(水)～9月18日(月・祝) ※48日間、前後期で第1会場入替

【会場】第1会場：美術展覧会場、第2会場：旧鶴岡警察署庁舎

【展覧会名】洋画家 三浦恒祺展

《前期》8月2日(水)～8月25日(金) 「原爆の形象」

《後期》8月26日(土)～9月18日(月・祝) 「庄内の憧憬」

【内容紹介】15歳の時に広島で被爆し、両親の郷里である鶴岡に帰郷。核廃絶を訴え続けるため「原爆の形象」の制作に取り組み、90歳を超えた今なお描き続ける。本展は75年におよぶ全画業の自選回顧展。

【会期日数】9月21日(木)～11月5日(日) ※46日間

【会場】美術展覧会場

【展覧会名】日本刀物語 ～変遷と魅力～

【内容紹介】出土した古代の直刀。「五箇伝」を中心に平安時代後期～江戸時代初期に作刀され、地域や時代による特色が魅力の「古刀」。その後、江戸・大坂・京で多く作刀された「新刀」。幕末・復古調の「新々刀」。今に伝わる刀剣や刀装具から、その変遷を辿る。重要文化財「短刀 銘 吉光(名物信濃藤四郎)」、重要美術品「刀銘 越前康継」ほか、さまざまな伝承をもつ刀剣も出品。

【会期日数】11月8日(水)～12月25日(月) ※45日間

【会場】美術展覧会場

【展覧会名】彫刻の人 野尻佐太右衛門

【内容紹介】旧温海町越沢生まれ(1925-2020)。鶴岡市職員や警視庁巡査になるも、彫刻の道を志して東京藝術大学美術学部へ入学、石井鶴三の薫陶を受けた。太平洋美術会に所属、「精神の自由」を立体表現に求め、作品制作に挑み続けた。

【会期日数】2024年1月5日(金)～1月22日(月) ※16日間

【会場】美術展覧会場

【展覧会名】第44回 鶴岡書道会会員展 ※16日間

【内容紹介】鶴岡市にあり、流派を超えて活動する書道団体。昭和8年創設。

【会期日数】2024年1月26日(金)～3月11日(月) ※41日間

【会場】美術展覧会場

【展覧会名】新収蔵品展 何コレ!?

【内容紹介】近年の寄贈品の中から、奇抜な形や意表を突く表現など、「何コレ!?!」と思えるコレクションをピックアップ。現代では思いつかない用途、大らかで自由な表現、無限の想像力、昔のモノの面白さや奥深さを紹介。

【会期日数】2024年3月1日(金)～4月3日(水) ※34日間

【会場】旧庄内藩主御隠殿

【展覧会名】第30回 鶴岡雛物語

【内容紹介】市内各所で開催され、鶴岡に春を告げる恒例の行事「鶴岡雛物語」展。当館では、旧庄内藩主酒井家や旧家伝来の雛人形と雛道具、「鶴岡伝統のお雛菓子」(生菓子)を一堂に展示紹介する。大名家ならではの典雅な雛祭り。

【会期日数】2024年3月14日(木)～4月23日(火) ※41日間

【会場】美術展覧会場

【展覧会名】歴史の扉5 庄内藩と飛島

【内容紹介】山形県で唯一の有人島である飛島には、特色のある文化や歴史がみられる。江戸時代には、北前船の補助港や避難港として一つの拠点となり、漁村として豊富な海産物を得ていた。本展では、飛島の生活文化や島内で起きた訴訟の様子など、民俗資料や古文書から展観する。

### グループ作品展

【会期日数】11月3日(木)～6日(日) ※4日間

【会場】旧鶴岡警察署庁舎1階ホール

【作品展名】第16回「砂の会」作品展

【会期日数】2024年3月16日(土)～20日(水・祝) ※5日間

【会場】旧鶴岡警察署庁舎1階ホール

【作品展名】第19回 東洋蘭展

※今年度の合同茶会(表千家、裏千家、遠州流、大日本茶道学会)は、お休みします